

平成27年度第3回図書館協議会会議録

日時 平成28年3月16日(水) 午後2時30分～午後4時20分
場所 いわき総合図書館 4階 会議室

出席者

委員 安齋薫 草野チエ子 志賀英信 郡司美枝子 北見正伸 川口美岐男 關内幸介
古館信義 菅野栄子

教育委員会事務局

生涯学習課長補佐

図書館職員

いわき総合図書館長 勿来図書館長 常磐図書館長 内郷図書館長

いわき総合図書館副館長 図書企画専門員 総務管理係長 情報資料係長

欠席者

高木典子委員

(進行 いわき総合図書館副館長)

○ 開会

○ 輝くいわき、学びあい都市宣言唱和

○ あいさつ

① いわき総合図書館長

本日は、お忙しいところ出席いただきましてありがとうございます。平成27年度の2月末の事業実績等の報告並びに平成28年度の運営方針、主要事業及び事業計画等を御協議いただくことになっています。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

② 委員長

本日が、平成27年度の最後の図書館協議会となります。みなさんお忙しい中ありがとうございます。よろしく願いします。

○ 議事

座長 草野委員長

(1) 報告事項

① 平成27年度 図書館利用状況等について

- ア 登録者数実績、イ 貸出冊数実績、ウ 資料保有状況・・・総務管理係長
- エ 事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・情報資料係長
- オ いわき総合図書館の利用状況・・・・・・・・総務管理係長

(2) 協議事項

- ① 平成28年度 運営方針及び主要事業（案）について・・・・・・・・総合図書館長
- ② 平成28年度 事業計画（案）について・・・・・・・・図書館企画専門員
- ③ 平成28年度 移動図書館運行計画について・・・・・・・・図書館企画専門員

質疑応答

委員 : 学校司書が増えて、どの学校も喜んでいるが、学校図書館司書研修の中で、市立図書館として、学校司書の悩みなどについて把握されているか。

図書館 : 研修の中での話ではありませんが、窓口に来た時に聞いた話で、初めて経験される学校司書が、蔵書の分類を変えようとしたときに、長く携わっているボランティアの方たちに「そのままがいい。」と主張されたことや、勤務時間中に市立図書館に来館できず、プライベートな時間に来館している等の悩みを伺っております。

委員 : 5Pの福祉資料、国際資料は、どういう種類の資料なのか。

図書館 : 福祉資料は、視覚障害等をお持ちの方に貸し出す録音図書（カセットテープやダイジー(CD)）、点字資料及び大活字本です。

国際資料は、いわき総合図書館の5階に所蔵しているもので、日本の小説の英語版、中国語版、韓国語版の外、ロシア語版等を収集しています。外国人のためでもあるが、日本人が外国語を学習するためにもなるものです。

委員 : 福祉資料、国際資料の所蔵が、いわき総合図書館以外の地区図書館がゼロ。分散して所蔵することが適切でないのかもしれないが、ハンディキャップをお持ちの方々がいわき総合図書館まで来なくとも、地区図書館で借りられるとよいのではないか。

図書館 : 予約をすれば、地区図書館に配送できます。地区図書館のスペースの問題と蔵書の管理の問題でいわき総合図書館に所蔵しております。視覚障害等をお持ちの方には、郵送で録音図書を配送することもしております。

委員 : これだけの事業を展開するのは相当な努力。それが、貸出冊数の増加に

つながっているのかと思う。一般書の構成で、語学が 1.9%だが、現在は、活字で語学を学ぶ時代ではないので理解できる。それに対して視聴覚資料約 10,000 点の中で、語学の占める割合はどのくらいなのか。国際都市を目指すのであれば、語学の視聴覚教材は、高価なので、公共図書館で貸出が可能な形に移行すべき。

図書館 : いわき総合図書館開館時に、視聴覚資料の所蔵がはじまり、かなりの数の語学関係のビデオを揃えましたが、ビデオが劣化してしまったので、予算の制約もあるが、DVD への更新を考えています。

委員 : 東日本国際大学の図書館でも、活字の媒体は必要最小限に抑えて、予算を視聴覚教材の購入に移行させている状況。語学等、反復学習が必要なものは、これが功を奏している。予算の許す範囲でお願いしたい。

委員 : 教育長記者会見の新聞記事によると、4月1日から、教育委員会の組織改正があり、いわき総合図書館の権限強化の項目に、「市民ニーズに的確に対応した主体的な取組みを推進するため、予算要求や計画立案などの権限を強化する。」とあるが。

図書館 : 市議会で審議中の案件なので、公式には申し上げられないが、図書館の独立性が高まり、いわき総合図書館長の権限も強化されます。詳細については、6月に予定している平成 28 年度第 1 回図書館協議会で説明します。

委員 : 5P の一般書の構成で、自然科学が 6.7%だが、低い。10%以上あっていいのではないか。自然科学の中で英語の文献はどのくらいあるのか。ノーベル賞を受賞した日本人研究者は、みんな英語で研究を発表している。英語で論文を書き、その質問に対して英語で回答できなければいけない。これから、意図して、英語の文献を収集されるよう希望する。

イギリスの経済学者で「経済学原理」を書いた「J.S.ミル」がいるが、この「経済学原理」のスタンダードな版があるとよい。3,000 円くらい。1870 年頃の本だが、最新のものだけでなく、スタンダードな古典が図書館にあっていい。知識のストックが必要。外国語の文献を収集してほしい。

委員 : 自分の恩師が退官されるときに、洋雑誌も含めて蔵書を 1 万冊ほどいただいた。現在は、東日本国際大学図書館に所蔵しているが、その当時、いわき総合図書館に寄贈できないか相談したところ、断られてしまった。古書店からの資料購入は可能なのか。高校生ぐらいの学生が、洋書を手にとって肌で感じることはできる。教育のきっかけになる。公立図書館の使命の一つ。個人からの蔵書の寄贈は、できないのか。

図書館 : 個人からいただく寄贈本は、地域に関係するものに限定させていただいています。公共図書館ということで一般的な資料が主と考えています。古典でスタンダードなものは、全集に入っている場合もあり、ある程度所蔵してい

ます。地域資料に関しては古書店に発注するルートもあり、必要なものは、意識して収集しています。

委員 : 退職するときに、個人の蔵書の中から図書館がセレクトしていただければ、お金もかからず、お互いに助かる。そういう発想も必要。地域の中学生、高校生、あるいは大学・高専でもそれぞれの専門分野が違うので、そういった学生のニーズも視野に入れた資料、図書館では、一般書がほとんどだろうが、それだけでなく特徴を出した専門書の所蔵もプラスアルファであっていい。

図書館 : いわき総合図書館を立ち上げるとき、規模も拡大したので、職員で、蔵書構成のプロジェクトチームを組み、貸出中心の蔵書から県立図書館の補完としてある程度専門的な資料も所蔵する市立図書館を目指し、相当数の専門書を購入しました。しかし、基本的な性格は、市立図書館なので、予算の制約や市民のニーズ、図書館として所蔵したい資料とのバランスをとって蔵書を決めていくことは、理解していただきたいと思います。

専門的な見地から所蔵すべきと思われる資料等については、リクエスト制度もあるので、先生方からもご指導いただければ、それに沿えるよう努力していきたいと思っています。

また、洋書については、是非、国際資料コーナーをご覧ください。英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語などいろいろあり、一般的に高校生や大学生が、目にできる外国語資料の量をはるかに超えています。

委員 : 図書館の蔵書量が減少している気がするが、貸出の件数が少ないものは、除籍されるのか。

図書館 : いわき総合図書館には、自動出納書庫があり、これは、東北では、当館と岩手県立図書館にしかないもので、65万冊収蔵可能です。この自動出納書庫に入っています。中央図書館時代は、開架書庫と閉架書庫がいっぱいになったら除籍するしかなかったが、今は、自動出納書庫がいっぱいになるまでは、いわき市に少なくとも1冊は残すようにストックしています。

市民の方々は、新鮮さを要求するので、開架には、新しいものを入れていきます。自動出納書庫の本は、職員に御用命いただければ、コンピュータで検索すれば出てまいります。

委員 : 私も2万冊の蔵書がある。これをどこに引き取ってもらうのかということになると、ある部分を残して、古書店に任せた方がいいのではないかと思う。しかしながら、J.S.ミルの「経済学原理」第7版やマルクスの「資本論」の英語版などは、いわき総合図書館に持っていてもらいたい。

委員 : 11Pに大学生の図書館実習とあるが、どういうものか。

図書館 : 司書資格の単位認定を受けるための実習で、大学から依頼があり、いわき

市出身の学生を受け入れている。

- 委員 : いわき総合図書館は、規模の大きい中央館だが、2名だけの受け入れか。
- 図書館 : 依頼の多い年度は、5名受け入れたこともあります。どの大学からでも依頼があれば受け入れています。
- 委員 : 6Pの利用推進事業は、市立図書館で企画しているのか。
- 図書館 : 企画は、職員が行っています。年度初めに計画しており、ネーミングも市民の方々が興味を持てるような工夫をしています。
- 委員 : 講師派遣事業も多い。事業内容は、公民館講座と似ているが、市民にとっては、図書館と公民館とでたくさんの特徴があり、自由に選択できる。
- 委員 : 市立図書館の職員は何名か。
- 図書館 : 職員22名と日々雇用職員1名です。
- 委員 : 22名が役割分担して業務を遂行していると思うが、資料にある事業の中で一番準備に時間のかかるものはどれか。
- 図書館 : 5Fの展示コーナーの企画展示です。資料の読み込み等に時間がかかります。現在は、「図書探訪 いわきの文学者—小説編—」を開催しています。
- 委員 : 何名ぐらいで企画展示を担当しているのか。なかなか専属ではできないと思うが。
- 図書館 : 企画展示については、グループ4名ぐらいで、その中で1名が専属という形をとります。展示するものだけでなく、パンフレットを作っていますが、そのための資料の読み込みが大変です。みんなでチェックしています。
情報資料係は、15名いるが、係の打ち合わせを月2回実施しています。その際に、担当者以外の方にも情報交換・情報の共有を図っています。
- 委員 : 企画の中身について、目標と実際のギャップはあるか。
- 図書館 : 同じ4名が3本の企画展を担当するのではなく、4名ずつ3回担当し、主になる人が計3名います。分かれて担当するので展示の内容に集中して取り組んでいます。当初の予定どおりに行っていると考えています。
- 委員 : ほかの事業については、どうか。
- 図書館 : 赤ちゃんへのはじめての絵本事業は、毎月5~6人が出かけるので、ローテーションを組んでいます。赤ちゃんにとって生後10か月児健診時の絵本のPR及び読み聞かせというのは、一生に一回しかないもので、職員も頑張っています。利用推進事業では、外部の講師の方との打ち合わせが、大変です。
- 委員 : 他の市町村等では、計画は素晴らしいが、達成度は良くても7~8割が多い。4名のメンバーで当初計画したところまで到達できることは、素晴らしい。来年度も頑張ってもらいたい。

19Pに、「学校支援ルームの開放」が入っていないのは、なぜか。

図書館 : 記載が、抜けてしまったので、追加します。

委員 : いわき市に限らず、行政の施設には、使わせてやっているという意識の施設が多いが、これだけの事業を展開している施設はない。感心する。

図書館 : ありがとうございます。

委員 : 児童書テーマ展示に月によるバラつきが大きい。自分の図書館でも、定期的に展示替えをするのは、大変だが、利用者の来館サイクルに合わせた展示替えが望ましい。

委員 : これだけの事業を展開しているので、広報をしっかりと、市民の方々の目に触れるようにすべき。

委員 : 本の貸出だけでなく、これだけ事業を展開していることに感謝する。もっと市民の方々に、そのことをわかってもらっていい。

駐車場の混雑状況は、どうか。曜日によっては、混雑するか。

図書館 : 最近は、避難者や除染作業員等で、人口が増えています。繁華街にある図書館なので、土、日等は、周辺の施設を利用するために、ここの駐車場を利用する方も多い状況です。そのことに対しては、図書館での駐車券のパンチは、図書館利用者に限る程度の対応です。

委員 : 夏休みの「科学遊び教室」に、子どもが参加した。ものを作って帰るだけでなく、本の紹介等もあり、子どもが、なかなか自分で探せない本を教えてもらえた。

子ども映画会は、けっこう長時間だが、あきない内容でよかった。

本の福袋の貸出も、びっくりした。

年末年始等で閉館時間が早まる時にも、Facebook でかわいらしく教えていただけるので、楽しんでいる。

○ その他

委員 : 避難者も含めて、図書館の需要が発生する。館長を中心に、どう進めるか考えて欲しい。双葉郡の方にとって、いわき市が第二の故郷になる。双葉地域の資料に対する需要も出てくる。

○ 閉会